

令和4年度 高鍋町立高鍋西中学校 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）4段階評価 【 A・・・よい B・・・概ねよい C・・・あまりよくない D・・・わるい 】

教育目標	「親愛」◎誠実・友愛の精神、勤労と奉仕の精神、感動など「豊かな人間性」 「英知」◎自ら学び、自ら考え、その学びを正しく生かし「課題を解決する力」 「鍛錬」◎健康・安全や目標に向かって、自らを「鍛え磨く力」
目指す学校像	○ 明るく、美しく、活気のある学校 ○ 学ぶ意欲を育て、知的好奇心を満足させる学校 ○ 一人一人が存在感のある学校 ○ 地域の信頼にこたえる学校
目指す生徒像	○ 自他の良さを認め、友情を育み、個性を生かし協同して活動する生徒 ○ 知的好奇心にあふれ、自ら学び、考え、課題を適切に解決しようとする生徒 ○ 命と健康を大切に、自ら進んで心や体を鍛え磨く生徒
目指す教職員像	○ 生徒とともに学び続ける教師 ○ 生徒と夢を語り、確かな力を付ける教師 ○ 生徒の心をつかみ、気付き、動き、見届ける教師 ○ 生徒の手本となり、尊敬される教師
目指す保護者像	○ 子どもを理解し、子どもの健全育成に努める保護者 ○ 学校と連携し、信頼関係を築く保護者 ○ 保護者同士が連帯感をもち、声をかけあう保護者
本年度の重点（教育的課題）	1 学力の向上：授業の工夫改善・キャリア教育の推進・家庭教育の充実・情報活用能力の育成 2 豊かな心の育成：人権教育の推進・道徳教育の充実・積極的な生徒指導の充実 3 健康・安全教育の推進：健康教育の充実・体力向上の推進・食育の推進・防災、安全教育の充実 4 信頼される学校づくり：学校のマネジメント力の向上・家庭との連携・チーム学校

評価項目	方策・手立て	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価				
			指標別	総合	結果の考察・分析	改善策等	コメント	評価	
高鍋町重点指導事項	【知】授業改善 家庭学習習慣の定着	○ 授業力向上を目指した研究授業や研修を通して授業改善に努める。 ○ 家庭と連携し、各学年に応じた家庭学習を習慣化させる。	○ 校内研修において、スキルアップ授業を学期ごとに年2回実施する。 ○ ICTを活用した授業改善に努める。 ○ 家庭学習の習慣を確立していると感じている生徒・保護者が70%以上である。	A	A	○ 2回（1学期・2学期）のスキルアップ授業を行い、特別支援教育の視点に基づいた授業改善と組織的な取組を行うことができた。 ○ 研修を通してICTの有効活用を図ることができた。 ○ 各教科家庭学習の充実のための取組を行ってきた。アンケートでは、親子共に50%を越えているが、十分とはいえない。 ○ 授業や行事、生徒会活動等を通して基本的な生活習慣の定着のための取組を行ってきた。 ○ 規則正しく健康的な生活（食事・睡眠・運動）は、約80%以上の生徒が実践できている。	○ 基礎基本の徹底と最適解・納得解を導くための学びに向けた学力向上を目指す。 ○ タブレットの持ち帰りも含めて家庭学習の充実を目指す。 ○ ICTを活用した学習環境を整備していく。 ○ 日常指導を徹底するとともに生徒会活動と連携した学校全体での取組を行う。 ○ 次年度も保健だより等を中心に啓発していく。 ○ 外部の人材や団体と積極的に交流を行い、今後も「社会に開かれた教育課程」を推進する。	○ 特に地域コーディネーターの方と連携した取組は素晴らしいと思う。何になりたいか決まらない今日において、考えるきっかけはたくさんあった方がよい。 ○ 授業の充実と組織的な取組ができているのがよい。学校の中心は「勉強」だと思う。 ○ 今後も継続して取り組んでいただきたい。 ○ 保護者との連携が重要。親の意識の向上を求める。 ○ タブレットで瞬時に答えが出てくるしくみは素晴らしい。先生方の苦勞を感じる。 ○ 子供たちの将来に、具体的な助言でやる気を起こさせることが大事。 ○ 「勉強」に関して、なぜ今の子供たちはしないのか。親と自分のやりたい職業や仕事の夢について話したりしているのか。 ○ 本人のやりたい職業が決まれば、どのような学校や勉強が必要か考えるようになるので、そこが勉強するきっかけにならないか。 ○ 校舎内外が綺麗に整備されており、清々しかった。そんな中子どもたちは落ち着いた環境の中、真剣な面持ちで授業に取り組んでいた。 ○ 民生委員として、高齢者や障害者の情報は把握しているが、不登校や支援を要する家庭の実情が分からないのが現状である。子どもや家庭の状況等をつかんでおけたら声かけ等もできるかなと考えている。	A
	【徳】基本的な生活習慣の定着	○ 学校教育活動全般を通して率先した「あいさつ」・「返事」・「靴並べ」・「整理整頓」・「大きな声で校歌を歌う」ことを体得させる。	○ 規則正しい生活を心がけ、日常生活の土台となる「あいさつ」・「返事」・「靴並べ」・「整理整頓」・「大きな声で校歌を歌う」の習慣化を図る。	A	A	○ 地域と連携し、「地域の力」を学校経営に生かし、70%以上の児童生徒・保護者が十分実感できている。	○ 総合的な学習の時間などを通して積極的に地域の人材を活用し交流活動を行った。 ○ オープンスクール期間（10月）設定でき、保護者や高校の先生方の参加もあった。	○ 図書・読書に関しては、読書の共有、同じ話ができる環境がもっとあってよいと思う。（おススメの本などを紹介しあう） ○ テレビやゲームの時代、読書はしない生徒の方が多いのではないかと。 ○ 進路指導や読書指導を通じて、生徒達の視野が広がる機会を作っていたほしい。 ○ 今年度は3年ぶりに西中・東中合同の職場体験学習が実施されました。校外に出て、「大人と共に働く」ことを体験した子どもたちの表情は、生き生きとしていました。事業所も待っていたようで、子供たちのために役に立ちたいという「地域力」を感じた。 ○ 先輩たちとの交流で自分の人生設計を考える機会の充実を求める。 ○ リアルな体験がもっとあっていいかもしれない。	A
	【体】生活のリズムの確立	○ 規則正しく健康的な生活（食事・睡眠・運動）について、学校だよりや学級通信等で啓発する。 ○ 1130県民運動（1週間に1回以上、30分以上は運動やスポーツをしよう）を推進する。	○ 規則正しく健康的な生活（食事・睡眠・運動）の実践者（児童生徒・保護者）数を90%以上にする。 ○ 学校や家庭等において、1130県民運動の実施率を90%以上にする。	A	A	○ 将来の夢や進路について考えている生徒が70%以上である。 ○ 1・2年生は1か月で2冊以上、3年生は1冊以上の読書をする。	○ 高校や関係機関と連携してキャリア教育を充実させる。 ○ 読書についての啓発を継続する。	○ 責任感のあることを実行・挑戦する。失敗しても今後の肥やしになるので、責任があることに取り組ませれば、思いやりの心に繋がる。 ○ 学校が楽しいと感じている生徒が80%以上は素晴らしい。あとの20%の生徒に先生方は悩まされているのでは。 ○ ボランティアなど校外の活動を含め、生徒が主体的に取り組む機会を設けていただきたい。 ○ 西中独自の生徒育成プログラムを作ることも必要なのでは。 ○ 学校を楽しんでいる生徒と、学校に来るのが辛いと思う生徒の差が大きい。 ○ 現在の西中の生活面の実情について次年度聞かせてほしい。	A
	【信頼される学校づくり】 学校運営協議会の充実 幼保・小中高連携の推進	○ 学校運営協議会のリーダーシップ、実務者会議の機動的な発揮、地域コーディネーターと連携した取組を行う。 ○ 学力向上や防災訓練、各種行事等における幼保・小・中・高等学校との更なる連携を図る。	○ 地域と連携し、「地域の力」を学校経営に生かし、70%以上の児童生徒・保護者が十分実感できている。 ○ 幼保・小・中・高と連携した行事に充実感を持っている生徒・保護者が、70%以上である。	A	A	○ 将来の夢や進路について考えている生徒が70%以上である。 ○ 1・2年生は1か月で2冊以上、3年生は1冊以上の読書をする。	○ 高校や関係機関と連携してキャリア教育を充実させる。 ○ 読書についての啓発を継続する。	○ 責任感のあることを実行・挑戦する。失敗しても今後の肥やしになるので、責任があることに取り組ませれば、思いやりの心に繋がる。 ○ 学校が楽しいと感じている生徒が80%以上は素晴らしい。あとの20%の生徒に先生方は悩まされているのでは。 ○ ボランティアなど校外の活動を含め、生徒が主体的に取り組む機会を設けていただきたい。 ○ 西中独自の生徒育成プログラムを作ることも必要なのでは。 ○ 学校を楽しんでいる生徒と、学校に来るのが辛いと思う生徒の差が大きい。 ○ 現在の西中の生活面の実情について次年度聞かせてほしい。	A
知育	○ キャリア教育の推進 ○ 読書活動の充実	○ 職場体験学習や総合的な学習の時間等を通して、働くことの意義や自分の将来について考えさせる。 ○ 朝読書の時間や町・某の図書館活用事業を有効に活用する。	○ 将来の夢や進路について考えている生徒が70%以上である。 ○ 1・2年生は1か月で2冊以上、3年生は1冊以上の読書をする。	A	A	○ 将来の夢や進路について考えている生徒は約71%であり、3年高校オープンスクール参加、2年職場体験と立志式、1年職業調べなどを通して、進路への意欲が高まった。 ○ 読書習慣が身に付いている生徒が、生徒59%、保護者意見では40%とまだまだ定着していない生徒が多い。	○ 高校や関係機関と連携してキャリア教育を充実させる。 ○ 読書についての啓発を継続する。	○ 図書・読書に関しては、読書の共有、同じ話ができる環境がもっとあってよいと思う。（おススメの本などを紹介しあう） ○ テレビやゲームの時代、読書はしない生徒の方が多いのではないかと。 ○ 進路指導や読書指導を通じて、生徒達の視野が広がる機会を作っていたほしい。 ○ 今年度は3年ぶりに西中・東中合同の職場体験学習が実施されました。校外に出て、「大人と共に働く」ことを体験した子どもたちの表情は、生き生きとしていました。事業所も待っていたようで、子供たちのために役に立ちたいという「地域力」を感じた。 ○ 先輩たちとの交流で自分の人生設計を考える機会の充実を求める。 ○ リアルな体験がもっとあっていいかもしれない。	A
徳育	○ 自主的活動の推進 ○ 心豊かな生徒の育成	○ 諸活動や学校行事において、積極的に参加し、協力し合って充実感を実感できる取り組みを行わせる。 ○ プログラム委員会を充実させ、生徒の自治を充実させる。 ○ 互いに尊重し合う集団づくりを行っていく。 ○ 全職員による道徳科の授業を実施する。	○ 学校を楽しんでいる生徒が80%以上である。 ○ 気配りや思いやりの心をもって人に接している生徒が80%以上である。	A	A	○ 90%以上の生徒が、学校行事や日常生活において積極的に参加し、協力し合って充実感を実感している。 ○ 全職員による人権教育研修や人権教育の充実により、生徒・保護者ともに80%以上が気配りや思いやりをもった人との接し方を心がけている。	○ 生徒が主体的に学校行事等に取り組む機会を積極的に設定する。 ○ 人権教育学習をさらに充実させていく。	○ 責任感のあることを実行・挑戦する。失敗しても今後の肥やしになるので、責任があることに取り組ませれば、思いやりの心に繋がる。 ○ 学校が楽しいと感じている生徒が80%以上は素晴らしい。あとの20%の生徒に先生方は悩まされているのでは。 ○ ボランティアなど校外の活動を含め、生徒が主体的に取り組む機会を設けていただきたい。 ○ 西中独自の生徒育成プログラムを作ることも必要なのでは。 ○ 学校を楽しんでいる生徒と、学校に来るのが辛いと思う生徒の差が大きい。 ○ 現在の西中の生活面の実情について次年度聞かせてほしい。	A
体育	○ 体力向上の推進 ○ 防災・安全教育の推進	○ 保健体育の授業において体力テストを活用して体力の向上を図る。 ○ 部活動・社会体育クラブ加入率をさらに上げる。 ○ 避難訓練や防災の目的取組を計画的に行う。	○ 体力テストを活用した個人の目標を設定し、Tスコアの向上（50以上が6割）を図る。 ○ 部活動（文化部を含む）・社会体育クラブ加入率が85%以上である。 ○ 「学校は、安全な登下校や身を守る態度の育成に努めている」が80%以上である。	B	A	○ 体力向上プランをもとに、体育授業の中で体力の向上を図ってきた。 ○ 本年度の部活動加入率は、56.3%で、校外活動を含む加入率は、64.7%であり、昨年度より下降している。 ○ 生徒、保護者ともに90%以上であり「危機管理」意識は高いといえる。	○ 生徒個々の基礎体力をさらに向上させるために学校全体での取組をしていく。 ○ 安心・安全な学校生活のため細心の注意と指導をしていく。	○ 部活動外（校外活動）での活動が増えて、体調管理が難しくなっている中、よく努力されている。 ○ 部活動加入率は、目標達成に向けて推進していただきたい。 ○ コロナの影響も大きいのではないかと。 ○ 部活動は、勝利至上主義に陥らないよう、楽しみながら技術の向上をめざし、卒業後も続けられることが望ましい。 ○ 防災・安全教育は、今後も継続して取り組んでいただきたい。 ○ 危機管理に関しては、様々な研修などを行い実践的な訓練を導入してほしい。 ○ テレビやゲームが普及し外で遊ぶことも減ったのかもしれない。	A

【次年度の方向性についての校長所見】
本年度は、校内研修において、スキルアップ授業やICTの活用を通して、「特別支援教育」の視点に基づいた授業改善に組織的に取り組むことができた。次年度も、これまでの研究の成果を生かし、職員の授業力向上を図るとともに生徒の学力向上を目指す。また、家庭学習を充実させるためには、保護者との連携が不可欠であり、タブレットの持ち帰りも含めて家庭学習の充実を目指す。生徒の主体的な活動においては、学校の活動で生徒が活躍する場を積極的に設定していきたい。キャリア教育においては、地域コーディネーターやキャリア教育支援センター等の関係機関との連携を深め、「広域的な学び」を推進したい。校時程や業務の見直しは、部活動や生徒に向き合う時間確保など、教師本来の職務に専念するためにも、町と連携しながら働き方改革を推進する。また、本年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため行事をはじめとする様々な活動を大幅に見直した。これを機に学校生活や行事等について改善や精選を推進していきたい。